

# 平成31年度使用

## 中学校教科用図書（道徳）研究報告書

### 教科用図書研究委員会

|             |       |   |
|-------------|-------|---|
| 東京書籍株式会社    | ..... | 1 |
| 学校図書株式会社    | ..... | 2 |
| 教育出版株式会社    | ..... | 3 |
| 光村図書出版株式会社  | ..... | 4 |
| 日本文教出版株式会社  | ..... | 5 |
| 株式会社学研教育みらい | ..... | 6 |
| 廣済堂あかつき株式会社 | ..... | 7 |
| 日本教科書株式会社   | ..... | 8 |

平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）研究報告書

|        |        |                  |
|--------|--------|------------------|
| 種目（教科） | 道徳（道徳） | 教科責任者 氏名 ■ ■ ■ ■ |
|--------|--------|------------------|

|        |   |        |     |
|--------|---|--------|-----|
| 発行者の番号 | 2 | 発行者の略称 | 東 書 |
|--------|---|--------|-----|

|            |  |
|------------|--|
| 特徴・特筆すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年の巻頭にある「話し合いの手引き」には、話し合いの進め方や司会の言葉が具体的に示されており、わかりやすい。</li> <li>・切り取り式の心情円とホワイトボード用紙が用意されているので、授業で活用できる。</li> <li>・「Action」では役割演技を通して、それぞれの気持ちを自分との関わりで考えることができる。</li> <li>・全教材の冒頭に主題を明示し、授業の導入で主題に関する投げかけをすることで、生徒が問題を把握できるようにし、教材末の「考えてみよう！」によって考え、議論し、問題を解決するというような学習過程が示されている。</li> <li>・各教材に「つぶやき」コーナーのスペースがあり、感じたことや考えたことを自由に書き込むことができる。</li> <li>・巻末の「自分の学びを振り返ろう」では、学期ごとに振り返りができる。</li> <li>・いじめ問題対応ユニット、生命尊重ユニットがあり、関連した内容をまとめて学習することで、それぞれの項目について多面的、多角的に考えを深めることができる。</li> <li>・様々な分野で活躍する人や被災地の実話、社会参画について考える新聞の投書等、現代的な課題についても複数の教材が掲載されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p> |
|------------|--|

平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）研究報告書

|        |        |                  |
|--------|--------|------------------|
| 種目（教科） | 道徳（道徳） | 教科責任者 氏名 ■ ■ ■ ■ |
|--------|--------|------------------|

|        |    |        |     |
|--------|----|--------|-----|
| 発行者の番号 | 11 | 発行者の略称 | 学 図 |
|--------|----|--------|-----|

|            |  |
|------------|--|
| 特徴・特筆すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末に「学びに向かうために」が設定されており、その中で考え、議論する場面には「意見交換」と明示してあるので、どの視点で話し合いを行えばよいかわかる。また、「考えよう」では、人間としての生き方について考えを深めたり、登場人物の立場に立った役割演技を促したりする問いが設けられている。</li> <li>・各教材で、「心の扉」のページで問題解決的な学習を促す問いや自分との関わりで考えられるような問いが設けられており、書き込みできるのもよい。</li> <li>・各教材の終わりと学期末のところで「学びの記録」、巻末に「1年間の振り返り」が設けられており、自らの学びを振り返ることができる。評価のための資料として活用することができる。</li> <li>・「いじめ」防止のため、正対して取り組む直接教材と、いじめに転じかねない生徒の日常の在り方について考える間接教材で正しく判断できるよう工夫されている。</li> <li>・現代的なテーマを扱った教材が豊富に盛り込まれている。特にLGBTについて扱っているのはよい。</li> <li>・季節を意識した教材配列になっているのがよい。</li> <li>・教材と内容項目の関連が分かるように、4つの視点ごとにマークと色で区別されている。また、「大切な10のポイントのマークにより何について学ぶのかわかりやすくなっている。</li> <li>・テーマ、ねらい、発問まで示されており、経験の浅い教員にも取り組みやすいように配慮されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p> |
|------------|--|

平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）研究報告書

|        |        |                  |
|--------|--------|------------------|
| 種目（教科） | 道徳（道徳） | 教科責任者 氏名 ■ ■ ■ ■ |
|--------|--------|------------------|

|        |    |        |    |
|--------|----|--------|----|
| 発行者の番号 | 17 | 発行者の略称 | 教出 |
|--------|----|--------|----|

|            |  |
|------------|--|
| 特徴・特筆すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の巻頭の「道徳が始まる」では、見通しを持って道徳の授業に取り組めるよう、内容項目ごとに扱う教材が示されている。</li> <li>・全教材の冒頭では問題意識を持たせたり、問題場面を把握させたりするための問いが設定されている。さらに、教材末の「学びの道しるべ」では自分の考えを持つ問いや話し合うことで、考えを広げたり深めたりする問いが設けられている。</li> <li>・「やってみよう」のページでは、道徳的諸価値の理解を生活の中での行為や習慣に結びつけるため、役割演技をするなどして、日ごろの体験を想起して話し合う活動が設けられている。</li> <li>・巻末には、毎時間自己評価できる「心かがやき度」や学期ごとに振り返りができる「道徳の学びを記録しよう」が設けられている。さらに、生徒が自分の今後の目標を書いたり、保護者や教師がメッセージを記入したりする欄も設けられている。</li> <li>・現代的な課題については、いじめ問題や生命倫理の問題、情報モラル、社会参画、社会の持続可能な発展等のテーマに対して、多面的・多角的に考えることができるように、複数の教材が各学年に設定されている。</li> <li>・郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度に関する教材が、「補充教材」として掲載され、地域教材等と入れ替えて弾力的に使用できるよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p> |
|------------|--|

平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）研究報告書

|        |        |                  |
|--------|--------|------------------|
| 種目（教科） | 道徳（道徳） | 教科責任者 氏名 ■ ■ ■ ■ |
|--------|--------|------------------|

|        |    |        |     |
|--------|----|--------|-----|
| 発行者の番号 | 38 | 発行者の略称 | 光 村 |
|--------|----|--------|-----|

|            |   |
|------------|---|
| 特徴・特筆すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末の「学びのテーマ」には、自分の気づきや心に残った他者の発言を書き留めることができる「私の気づき」が設定されている。</li> <li>・教材末の「考える観点」では道徳的な価値についての理解や自覚を深める問いが設定され、さらに「見方を変えて」では、生徒が多面的・多角的な見方や考え方ができるように視点を変えた問いが設定されている。</li> <li>・「COLMN」では、人と人との関係づくりのための役割演技やいじめについて、様々な立場に立って考えることができる学習活動が提示されている。</li> <li>・巻末には「学びの記録」があり、自己の今までの学びや成長を振り返り、今後の自分に生かしていきたいことなどを書く欄が設けられている。</li> <li>・現代的な課題として、情報モラル、いじめ問題、共生、社会参画、環境、国際理解を重点として取り上げており、読み物教材に続けて、その道徳的価値を踏まえ多面的・多角的に考えることができるよう「COLUMN」が配置されている。</li> <li>・巻末には、様々な分野で活躍している著名人から、直筆の「あなたへのメッセージ」が掲載され、興味を持って読むことができる。</li> <li>・教材の配列が、1年を4つのシーズン（まとまり）に分け、さらにその中で複数の教材で構成されたユニットを設けてあるので、1時間の学びが単独でなく、関連する内容項目が有機的に結びつくようになっている</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p> |
|------------|---|

平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）研究報告書

|        |        |                  |
|--------|--------|------------------|
| 種目（教科） | 道徳（道徳） | 教科責任者 氏名 ■ ■ ■ ■ |
|--------|--------|------------------|

|        |     |        |     |
|--------|-----|--------|-----|
| 発行者の番号 | 116 | 発行者の略称 | 日 文 |
|--------|-----|--------|-----|

|            |  |
|------------|--|
| 特徴・特筆すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭の「道徳科での学び方」では、学びが深めることができるよう、発表の仕方や意見交換の仕方など、言語活動の具体的な姿が写真と吹き出しでわかりやすく示され、生徒が主体的に学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>・ 書く活動の充実が図られるよう、道徳的価値に迫る問いに対する自分の考えや他者から学んだ内容を別冊の「道徳ノート」に書く欄が設けられている。</li> <li>・ 別冊「道徳ノート」には、学習を終えての新たな気づきやこれから大切にすること等について、自己評価する欄が設けられている。また、生徒自身が1年間の成長を実感できるよう工夫されている。評価にも十分活用することができる。</li> <li>・ 教科書の巻末と「道徳ノート」の裏表紙には保護者へのメッセージが掲載されており、「道徳ノート」の巻末には保護者の記入欄も設けられている。保護者にも生徒の成長を捉えてもらうよう意識されている。</li> <li>・ 自分との関わりからさらに人間としての生き方について考える問いが、すべての教材末に「自分に+1」として設定されている。これも「道徳ノート」に記入できるようになっている。</li> <li>・ 「道徳ノート」の活用により、経験の浅い教師でも授業がしやすくなっている。必要に応じて、自作のワークシートも貼付することもできるようになっている。</li> <li>・ 「いじめ」について、主体的に考え、議論できるよう教材の選定に工夫が見られる。また、この問題を集中的に考えられるように、ユニット化が図られている。さらに、年間で複数回配置してあり手厚くなっている。</li> <li>・ いのちの大切さや働くことの意義、情報モラル等の現代的な課題について、繰り返し学習が進められるよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p> |
|------------|--|

平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）研究報告書

|        |        |                  |
|--------|--------|------------------|
| 種目（教科） | 道徳（道徳） | 教科責任者 氏名 ■ ■ ■ ■ |
|--------|--------|------------------|

|        |     |        |     |
|--------|-----|--------|-----|
| 発行者の番号 | 224 | 発行者の略称 | 学 研 |
|--------|-----|--------|-----|

特徴・特筆すべき事項

- ・巻頭の「扉を開く」では、「考えを深める四つのポイント」が示され、話し合いの進め方について、イメージを持つことができるよう、イラストと言葉、吹き出し等で具体的に分かりやすく提示されている。
  - ・教材末にある「深めよう」の中にある「考えを整理しよう」「話し合おう」では、マンダラチャート等を活用して、ペアやグループで話し合う流れが示されている。また、「やってみよう」では、登場人物になりきって役割演技をしながら、考えたり話し合ったりする学習活動が提示されている。
  - ・「クローズアップ・プラス」では、生命尊重といじめ防止につながる3つのテーマとして、自己肯定感・アンガーマネジメント・メンタルトレーニングを掲げ、関連する情報や体験的な学習活動が提示されている。
  - ・生徒が自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視しているため、本文に主題名を示さないようにしている。
  - ・自分自身の心の成長や考えの変容を自覚できるよう、巻頭の「マイプロフィール」では現在の自分を、巻末の「心の四季」では1年間の心の成長をそれぞれ見つめて書くページが設けられている。
  - ・様々な分野で活躍する人物の生き方を通じて、自分の生き方について考えを深めることができるよう、スポーツ選手や先人を題材とした複数の読み物教材が掲載されている。また、「クローズアップ」では情報モラルやいじめ、安全教育等の現代的な課題を扱った資料や読み物が掲載されている。
  - ・A4の判型で視覚的に捉えやすく、ゆったりとした紙面構成になっている。ただ、中学生に向けての教科書としてはサイズが大きすぎる感がある。
- 以上の理由により教科書として概ね良い。

平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）研究報告書

|        |        |                  |
|--------|--------|------------------|
| 種目（教科） | 道徳（道徳） | 教科責任者 氏名 ■ ■ ■ ■ |
|--------|--------|------------------|

|        |     |        |       |
|--------|-----|--------|-------|
| 発行者の番号 | 232 | 発行者の略称 | 廣あかつき |
|--------|-----|--------|-------|

|            |  |
|------------|--|
| 特徴・特筆すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材末の「考える・話し合う」の「学習の手がかり」では、はじめに本時のめあてが示され、続いて、教材の流れに沿った問いや、あなたならこの後どうするか、というような問題の解決を図るための問いが示されている。また、「考えを広める・深める」では、自分との関わりを考えたり、自己の体験を想起したりして考える、さらに考えたくなる問いが用意されている。</li> <li>・「道徳ノート」の問いに問題解決や体験を促す項目が設定されている。だが、ノートの問いかけは、教科書で学習した内容をさらに発展させたようなものになっており、道徳の時間内で扱うにはむずかしいと思われる。</li> <li>・「道徳ノート」の巻末には、「心に残っている授業の記録」や「話し合い活動の記録」、「学習の記録」のページが設けられており、学習を振り返ることができる。また、「心のしおり」では、自分自身を振り返って、自己評価するとともに、自分の伸ばしていきたいことや今後の目標を書き込む欄が設けられている。</li> <li>・「thinking」では、いじめの防止や生命の尊さ等、現代的な課題について理解を深めたり、視野を広めたりできるよう、教材に関連した実話や補足資料が掲載されている。</li> <li>・すべての教材の最後に、生徒の価値理解を深められるよう、学習する内容項目に沿った先人や現代に活躍する人々の一言が掲載されている。</li> <li>・巻末には、現代的な課題である情報社会、持続可能な社会等について、身近な問題として自分との関わりで考えられるよう、補助教材が掲載されている。</li> <li>・先人の伝記や様々な分野で活躍する著名人、スポーツ選手等を題材とした教材が多数掲載されている。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p> |
|------------|--|



平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）研究報告書

|        |        |                  |
|--------|--------|------------------|
| 種目（教科） | 道徳（道徳） | 教科責任者 氏名 ■ ■ ■ ■ |
|--------|--------|------------------|

|        |     |        |     |
|--------|-----|--------|-----|
| 発行者の番号 | 233 | 発行者の略称 | 日 科 |
|--------|-----|--------|-----|

|            |  |
|------------|--|
| 特徴・特筆すべき事項 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭の「多様な考えを知るために」には、多様な考えを知るために、話し方、聴き方、質問の仕方が示されている。</li> <li>・ 教材末の「考え、話し合ってみよう そして深めてみよう」では、答えが1つではない道徳的課題を自分自身の問題として捉えたり、多面的・多角的に思考を深めたりすることができるような問いが設定されている。</li> <li>・ 巻頭で今の自分を振り返る「心の成長を目指して」というページがあり、巻末には1年間の心の成長や道徳の時間を振り返るページがあり、自分自身の心の成長を振り返ることができるようになっている。</li> <li>・ 現場の教師が執筆したオリジナル教材、事実や情報のみで構成された教材、本文がなく絵のみでストーリーが示された教材等が掲載されている。</li> <li>・ スポーツ選手や学者、歴史人物など魅力ある人物教材や全国各地の教材も取り入れ、題材の充実が図られている。</li> <li>・ いじめを許さない心を育てるよう、いじめについて正面から取り上げる直接教材に加えて、生命尊重や人間愛などについて考える間接教材が掲載されている。</li> <li>・ 社会の中での自己の判断の基準となる道徳的価値を形成するために、LGBTの問題や障害者差別解消法について学ぶ教材が設定されている。</li> <li>・ 内容項目順に教材が配置されている。これは各地域や学校の特色や方針に応じて、教材の順序にこだわらず、自由に教材を活かすことを意図しているようだが、指導順を考えることはなかなかむずかしいと思われる。</li> </ul> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p> |
|------------|--|